

切らずに甘さが分かります！ メロン用非破壊糖度計 **てん すい ※** 甜揣 を開発しました



非破壊糖度計

～経営情報研究部

おいしくて品質の良い農産物が求められています。そのため、選果場で果物などを選果する時に、外観だけでなく味、特に甘さを基準にすることが増えてきました。甘さを測るためには果実を切って調査しなくてはなりません。ところが、可視光と赤外光の間の近赤外光を果実に当てその情報を解析することで、切らずに（非破壊で）甘さ（糖度）を測定する方法が実用化され、最近では大きな選果施設を中心に利用が進んでいます。

神奈川県で生産されるメロンは、ほとんどが生産者個人から消費者へ直接販売される形態となっています。そこで、当所では民間企業と共同で、生産者個人でも甘さ（糖度）を選果の基準として利用できる、安価なメロンの非破壊糖度計を開発しました。この装置を使うと、メロンを切らずに甘さが分かるので、糖度を保証した果実を消費者へ届けることができます。

※ 甜揣：甘さを測るという意味

紫キャベツの栽培

～三浦半島地区事務所

三浦半島では、一部の地区で紫キャベツが導入されており、冬から春にかけての連続出荷をめざしていますが、3月どりについては、収穫する方法が確立していません。

そこで、三浦半島地区事務所では、紫キャベツを3月に出荷するために資材の利用や、品種比較、播種時期、育苗方法などの検討を行っています。

7品種について9月中旬播種で、マルチ・穴あきトンネル・べたがけ資材を用い、育苗方法を変えて（移植、直播）栽培をおこなったところ、内部抽だいの問題はありましたが、すべての品種で、資材を用いることで、どの育苗方法でも3月中に出荷可能な結球重になり、それぞれの品種、育苗方法での生育の早晩、低温結球性、抽だいの伸長特性などを把握することができました。

今年度は、品種の特性を活かした播種時期と栽培方法で、3月収穫の秀品率の向上をめざすとともに、抽だい伸長等による収穫限界を検討、把握する予定です。



3月収穫ネオルビー

表 紫キャベツの収穫調査結果

品種	播種日	育苗方法	結球重	収穫日(調査日)	秀品割合	試験年度
ネオルビー	9/29	移植(セル)	1162	4/14	0.2	平成16年度
ネオルビー	9/6	移植(セル)	1423	3/2～4/10	0.3	平成17年度
ネオルビー	9/16	直播	1494	2/24～4/12	0.3	平成17年度
紫甘藍	9/16	移植(セル)	1235	3/13～4/19	0.3	平成17年度

マルチ・穴あきトンネル・べたがけ資材を使用した栽培